

胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の遅発穿孔に関する研究

1. 研究の対象

2005 年 1 月から 2022 年 12 月の間に胃腫瘍に対し、内視鏡的粘膜下層剥離術を受けれた方。

2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2026 年 7 月 31 日

研究目的：胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の遅発穿孔は稀ではありますが、外科手術が必要になることもある重篤な合併症です。遅発穿孔に対し、より良い対処ができる体制を構築することです。

研究方法：遅発穿孔の頻度、対処法、発生に関与する因子等を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療録(血液検査データ、内視鏡検査所見等)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 消化管内科 北川 大貴

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上